

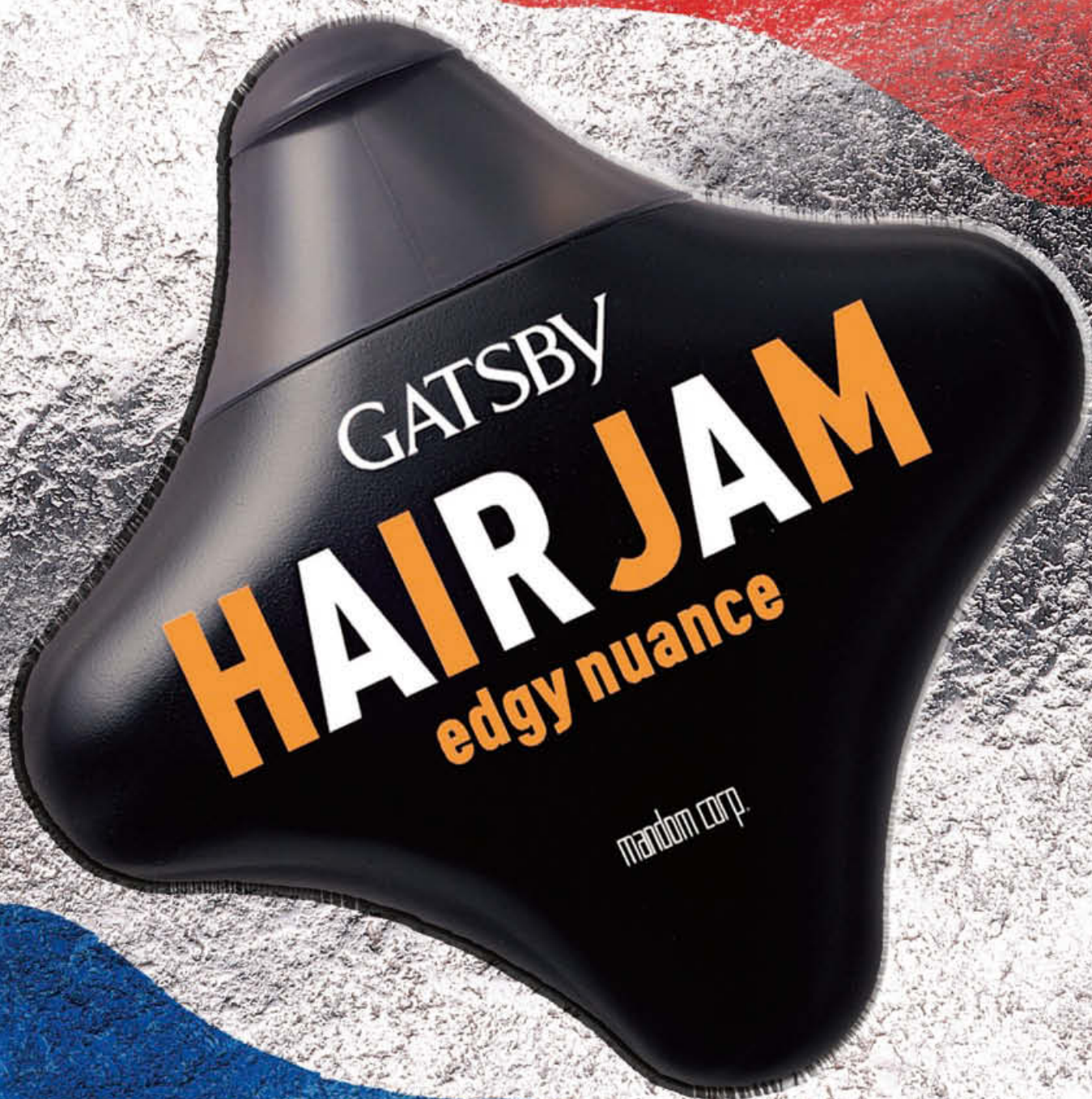


BUSINESS REPORT

株主通信

第98期 中間

2014年4月1日～2014年9月30日



基本理念 | Our Mission

美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする

Aiming to Provide a Comfortable Lifestyle Supported by Health and Beauty

人は「美」に触れたとき、心に深い感動を覚え、満足感が広がっていきます。
その、胸躍る感情と満ち足りた気持ちが心身に好影響を与え、健康へと結び付いていくという思いを、
「美と健康を通じ」という言葉に込めました。

生活者の美意識を呼び起こすような価値あるモノをつくり、魅力ある商品・サービスとして、
世界で一人でも多くの生活者に送り届けることが「快適な生活にお役立ちする」ことだと認識し、
生活者満足の最大化を目指します。

株式会社マンドム

証券コード: 4917

当初計画の達成に向け、邁進します。

売上高・四半期純利益において 過去最高を達成しました。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は、国内において天候不順によるボディペーパーなどの男性用夏シーズン品の伸び悩み、インドネシアの通貨安にともなう円換算額の減少がありました。当社はマーケティング費用の積極的な投下により、国内外ともに総じて堅調に推移しました。その結果、営業利益・経常利益は減益だったものの、売上高は増収、四半期純利益は増益となり、過去最高を達成することができました。

これにより、国内のマンダムやインドネシア子会社の業績は堅調に推移した一方で、国内関係会社や海外その他の一部の国において計画未達があったことにより、段階利益が当初計画を上回って推移したものの、売上高においては当初計画を達成することができませんでした。

下半期においては、各国で厳しい市場環境が続くことや、為替におけるマイナス影響が想定されることから、国内外における成長維持・拡大に向けてさらなるマーケティング費用の積極投下により、当初掲げた計画の達成を目指してまいります。

2015年3月期業績見通し

売上高	712億円	前期比 104.4%
営業利益	71億20百万円	前期比 103.9%
経常利益	74億20百万円	前期比 101.2%
当期純利益	43億20百万円	前期比 105.6%

主力市場における競争優位性の確立、 新市場・事業分野の開拓に努めます。

当社は、「アジアでグローバルな経営を強みとするオンリーワン・カンパニー」を目指し、当期(2015年3月期)より第11次中期3ヵ年経営計画(MP-11)をスタートさせました。MP-11では、「アジアにおける成長加速と新規事業開拓の推進のための中期3ヵ年計画」と位置付け、収益性の向上、安定的かつ高水準な株主還元の継続に配慮しつつ、売上規模の拡大を目指します。戦略テーマとして「コア事業である男性グルーミング事業の安定成長」「女性コスメティック事業の展開強化」「アジアを成長エンジンとした海外事業の継続強化」を掲げ、主力市場における競争優位性の確立と、新たな市場・事業分野の開拓に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

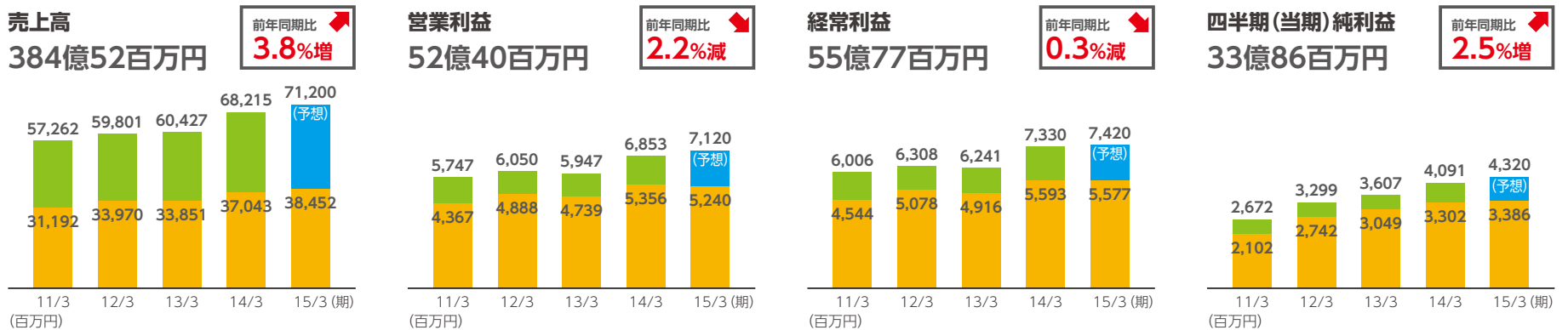


M. Nishimura

にしむら もとのぶ
代表取締役 社長執行役員 西村 元延

第98期(2015年3月期)第2四半期累計決算ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2014年3月31日)	当第2四半期末 (2014年9月30日)
流動資産	43,665	45,454
固定資産	24,192	24,856
資産合計	67,858	70,311
流動負債	10,243	10,339
固定負債	2,436	2,490
負債合計	12,679	12,830
純資産合計	55,179	57,480
負債純資産合計	67,858	70,311

Point

資産(24億52百万円増加)

主に流動資産の「有価証券」が増加したことにより24億52百万円の増加となりました。

負債(1億51百万円増加)

主に流動負債の「その他」に含まれる未払金が減少したものの、「短期借入金」が増加したことにより1億51百万円の増加となりました。

純資産(23億1百万円増加)

主に「利益剰余金」の増加により23億1百万円の増加となりました。

トピックス | Topics

Topics 1 「ギャツビー」ヘアスタイリング剤が好調

ヘアスタイリング剤離れの傾向が見られた高校生・大学生の、“素髪感”ウオントツに対応し発売したギャツビー「ヘアジャム」シリーズが好評です。8月にはショートヘア向けの「エッジニュアンス」も追加発売し、松田翔太さん、栗山千明さん出演の新TVCMを投下して認知拡大に努めています。主力商品のヘアワックス「ムービングラバー」も引き続き堅調で、男性ヘアスタイリング剤市場におけるギャツビーのシェアも45%強に拡大しています。

※マンダム算出市場データ 期間:2014年4-9月
男性ヘアスタイリング剤カテゴリー



Topics 4 インドネシア 男性グルーミング引き続き好調

当上半期(2014年1~6月)も男性グルーミング市場において、ギャツビーが堅調に推移しています。ヘアスタイリング剤においては、ヘアワックス商品が順調に売上を拡大しています。加えて、2月には新製品「スタイリングミスト」を発売し、TVCM投下の効果もあり順調に搬入が進んでいます。また、フレグランス商品の「アーバンコロム」が引き続き好調に推移しています。これに続き発売した新製品の「オードパルファム」も着実に店頭搬入が進んでいます。



Topics 2 「ビフェスタ」をリニューアル

2011年8月の発売以来、累計出荷本数が1,000万本を突破したビフェスタ「うる落ち水クレンジング」シリーズ(メイク落とし)のリニューアルを8月に行ないました。カテゴリーNo.1*商品である「ローション」と「アイメイクアップリムーバー」、実績好調の「シート」を一新し、これに合わせて土屋アンナさんを起用した新TVCMを投下し、さらなる愛用者拡大を図っています。

※マンダム算出市場データ 期間:2014年4-8月
クレンジングローションカテゴリー、ポイントメイク落としカテゴリー



Topics 5 「ビフェスタ」タイでもNo.1

2月よりビフェスタ「クレンジングローション」(メイク落とし)のTVCMを投下し、これに合わせてチェーン小売業における店頭強化、バンコクを中心としたオフィスビルでの商品サンプリング等のプロモーションを積極的に展開しました。“水クレンジング”はタイ女性にも受け入れられ、現在クレンジングカテゴリーでNo.1*商品となっています。

※Nielsen調査 期間:2014年1-3月
クレンジングカテゴリー



Topics 3 ディズニーデザインの「マンダム ボディシート」が好調

ディズニーデザインのマンダム夏シーズン品が好評です。鮮度アップを目的として2月に「ボディシート」、「スプラッシュデオウォーター」のリニューアルを実施しました。加えて新アイテム「デオドラントスプレー」の追加発売により、ラインナップを一層強化すると共に、早期展開をはじめとした店頭強化を図った効果もあり、特に「ボディシート」が好調に推移しています。また、秋冬シーズンに高まるボディの保湿ケアウオントツにも対応し、8月には「オイルインボディミルク」を発売しました。

Topics 6 将来の成長エンジン インドシナ地域への取り組み

タイのグループ会社を拠点として、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオスにおいて男性グルーミング商品を中心に市場創造に取り組んでいます。中でも、カンボジアにおいては、当地の人気スター「Nico」さんをブランドアンバサダーとして、ターゲット生活者に対してTVCMをはじめとしたバリエーション豊富なコミュニケーション施策を展開し、男性グルーミングブランド「ギャツビー」として認知拡大中です。現在ヘアスタイリング、デオドラント商品を中心に売上を拡大しています。



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

所在地別売上高・営業利益の概況

日本

売上高 **238億54百万円** (前年同期比 2.4%増)
営業利益 **36億39百万円** (前年同期比 5.9%減)

売上高は、「ギャツビー」が伸び悩んだものの、「ルシード」や「女性コスメティック」等が堅調に推移し増収となりました。営業利益は、マーケティング費用の投下と原価率の上昇により減益となりました。

インドネシア

売上高 **84億32百万円** (前年同期比 4.9%増)
営業利益 **5億40百万円** (前年同期比 11.0%減)

売上高は、現地通貨安による円換算額の減少があったものの、インドネシア国内において総じて堅調に推移したことにより増収となりました。営業利益は、積極的なマーケティング費用の投下により減益となりました。

海外その他

売上高 **61億65百万円** (前年同期比 7.9%増)
営業利益 **10億60百万円** (前年同期比 20.5%増)

売上高は、現地通貨ベースでは概ね堅調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加により増収となりました。営業利益は、増収効果により好調に推移し、増益となりました。

事業別売上高の概況

男性グルーミング事業

国内の夏シーズン品が伸び悩んだものの、総じて堅調に推移しました。 **261億45百万円**
前年同期比 **1.1%増**
主なブランド: ギャツビー、ルシード



女性コスメティック事業

国内・海外共に好調に推移しました。 **41億70百万円**
前年同期比 **12.9%増**
主なブランド: ピクシー、ビフェスタ



女性コスメタリー事業

国内・海外共に好調に推移しました。 **41億33百万円**
前年同期比 **14.0%増**
主なブランド: ルシードエル・ピュセル



Special Contents
特集
Vol.1

大衆層に使用していただくための サイズバリエーション

生活者のニーズ・ウォンツをつかむマンダムの「お役立ち」考働



お役立ち考働に基づいた 開発・流通・販売を展開。

マンダムの価値づくりは、「美と健康を通じ、快適な生活にお役立ちする」という理念のもと、「生活者のお役に立ちたい」という想いから生み出されています。その想いは国内だけでなく、海外においても同じことです。その国、その地域においてそれぞれの一般的な生活者(大衆層)にお役立ちするため、多種多様な商品づくりに取り組んできました。

マンダムの海外事業の中心であるインドネシアにおいても同様です。

インドネシアでは、1969年の設立から現在にいたるまで、一貫して一般的な生活者(大衆層)を主なターゲットとしています。商品開発においてはニーズ・ウォンツに合わせたカテゴリーへの進出、流通においては幅広い流通網を構築、販売においては生活者のライフスタイルや所得に対応した商品販売を行ってきました。

ひとりでも多くの皆さまへ 快適な生活をお届けするために。

これらの一例として挙げられるのが、サイズバリエーションによる展開です。インドネシアの男性ヘアスタイリング剤の中で最も売れている「ギャツビー ウォーターグロス」は、一番大きいサイズである300gから一番小さいサチットと呼ばれる小袋に入った6gまで、7種類ものサイズを販売しています。インドネシアは、日本に比べ所得の差が大きいことから、サイズを複数展開することで、さまざまな所得層にとって購入していただきやすい販売価格を実現しました。

世界第4位の人口を誇るインドネシアは、平均年齢が大変低く若者が消費を牽引する国です。ライフスタイルや嗜好性も多様で、経済成長とともにおしゃれ意識も高まってきています。マンダムのインドネシア事業は、売上高が2007年から6年間で約2倍と伸長し、連結における所在地別売上高構成比では、23.4%と日本(60.0%)

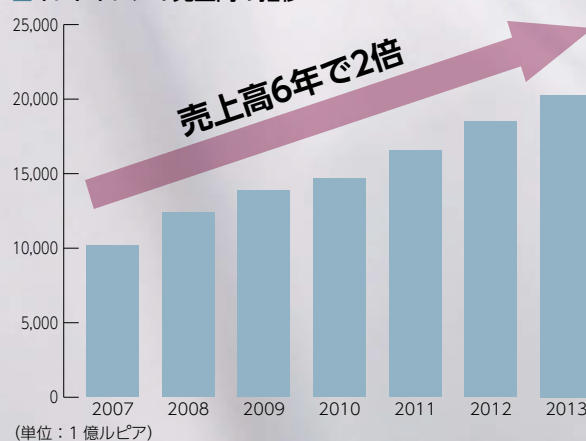
に次ぐ売上規模となっています。また、インドネシアにおけるギャツビーの認知度は、いまや100%*となりました。

これらの経験を活かし、今後も成長著しいインドネシアをはじめ、さまざまな国や地域でひとりでも多くの生活者の皆さまの快適な生活にお役立ちできるよう取り組んでまいります。

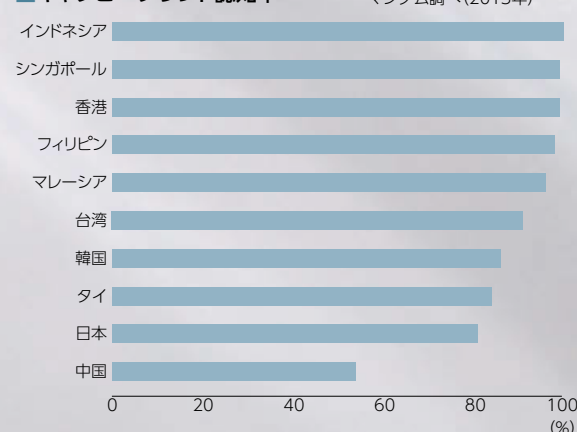


7種類のサイズバリエーションを揃えたギャツビー ウォーターグロス

■インドネシアの売上高の推移



■ギャツビーブランド認知率*

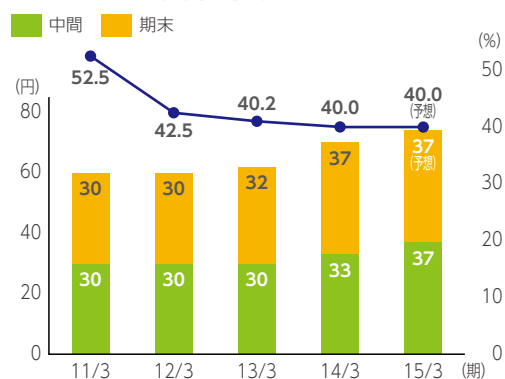


株主還元の基本方針

■配当に関して 連結ベースで 配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置づけ、中長期的な事業拡大、新規事業開拓および企業リスクのための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針にしております。連結ベースでの「配当性向40%以上」の継続的な実現を目標としております。

配当金と配当性向の推移



■株主優待について 5,000円相当の 当社商品詰め合わせをお届け

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしております。当社をより身近に感じていただくために、優待品は当社のお奨めする商品を、新製品を中心に選定しております。



2014年実施株主優待詰め合わせ

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

[そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日]

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
および特別口座 三井住友信託銀行株式会社
の口座管理機関
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031

*詳細は、当社サイトをご確認下さい
URL <http://www.mandom.co.jp/ir/src/stockinfo.html>

会社概要

[2014年9月30日現在]

社名 株式会社マンダム
本社 大阪市中央区十二軒町5-12
設立 1927年12月23日
資本金 11,394,817,459円
従業員 533名 (連結2,442名)
事業内容 化粧品、香水の製造および販売、
医薬部外品の製造および販売

株式会社マンダム 広報 IR 室
〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
TEL: 06-6767-5020 FAX: 06-6767-5043
株式会社マンダムはISO14001(福岡工場)を認証取得しております。

IR メール配信サービス
当社のIR・会社情報をタイムリーにお知らせしています。
(会員登録はこちら)

マンダム IR 情報 検索

